



報道関係者各位
プレスリリース

2024年4月25日



CCSの導入支援・普及促進に関する機関 「Global CCS Institute」に加盟しました。

2024年4月、特別民間法人高圧ガス保安協会（KHK）は、CCS（二酸化炭素回収・貯留）の導入支援及びCCS技術の普及促進等に関する会員制国際シンクタンク「Global CCS Institute」（本拠地：オーストラリア）に加盟しました。

国内外においてCCSに関する議論が活発化する中で、CCS技術の社会実装の進展に必要な様々な検討を行っていくためには、国内外の開発プロジェクトや規制・政策等に関する情報を収集することが重要となります。

このため、当協会は、国内外のCCS情報収集ネットワークのさらなる強化を目的として、Global CCS Instituteに加盟しました。Global CCS Instituteが有する国際的なCCSデータベースの活用やメンバー会議への参加・交流を通じ、当協会の知見に加え、質・量ともに充実した情報の蓄積が期待できます。

今後は、CCS事業において二酸化炭素を安全に取扱うために必要な国内技術基準の整備・見直し、国際標準化に向けた提案など、国内外におけるCCS保安のルール整備に向けて迅速に取り組むことで、CCS事業におけるより一層の安全性向上とともに普及促進に貢献してまいります。



GLOBAL CCS
INSTITUTE

<https://www.globalccsinstitute.com/>

Global CCS Institute：CCSの導入支援、CCS技術の普及促進等を目的として2009年に設立された会員制国際シンクタンク。国際的なCCSデータベース（CO2RE）の作成・管理、CCSに関するグローバルステータスレポート等の作成、CCS関連のフォーラムや講演会の運営等を行っている。世界で215以上の政府・事業者・研究機関等が加盟。



【本件に関するお問合せ先】

特別民間法人高圧ガス保安協会 水素センター
センター所長 小山田賢治
開発チーム 榊原 叶子

電話：03-3436-6135

Mail：h2@khk.or.jp URL：www.khk.or.jp